



申5号

「大宮駅の化粧室にサンタリーボックスの設置を要請する」

申し入れ

【 : 組合、 : 会社】

5月19日開催 交渉要旨その2

2. 大宮支社管内の全ての駅の化粧室にサンタリーボックスを設置すること。特に利用者の多い大宮駅には早急に設置すること。

(回答) お客さまがご利用になるバリアフリートイレ及び女子化粧室についてはサンタリーボックスを設置しているところである。なお、現時点において、お客さまがご利用になる男子化粧室にサンタリーボックスを設置する計画はないが、今後の社会情勢等を踏まえ、法令等に則り必要な対応を行っていく考えである。

● JR東日本の施設内で設置されている実例はあるのか？

● さいたま市内の公共施設では、2025年度は359施設中216施設、6割の男性用トイレにサンタリーボックスが設置されているが、社会的に浸透が進んでいると言えるのではないか？

● 維持費がかかるから難しいのか？

● 秋田駅の利用実績やお客さまの声で把握していることはあるか？

● バリアフリートイレの設置に補助金は出ているのか？

● 逆に女性用トイレにサンタリーボックスを設置しないことでコスト減にもなるが、一方にのみ設置する意味は何か？

● 維持管理について注射針や匂いの話があったが男女でリスクは同じで懸念にはならない！

● 駅構内のゴミ箱に廃棄されることはやむを得ないということか？

● ゴミ箱に廃棄することが好ましくないのであれば男女で分けるものでもないし、公共施設の設置実績が高まっていることからすれば自然で公平性を担保する要求なのではないか？

● 秋田駅の改札内男性用トイレや、北口ロータリー男性用トイレに現在も設置されている。

● 行政として税金という形で幅広い対応をしていかなければならない行政サービスの一環と認識している。

● お金についてはあくまでさまざまある優先順位の付け方の1つ。注射針等の廃棄や匂いといった維持管理が課題になる。

● 把握していない。

● 当社単独では厳しいので補助金で順次増やしている。

● 必要な対応は実施していく考えである。女性用は利用実態が明確、社会的に定着している。

● 幅広く管理していく必要がある。

● 可能性としてはあるが、お客さまに案内や呼びかけは今のところしていない。

● 公共性・公平性は見えていかなければならない認識はあるが、さまざま課題や法令、優先順位が大前提になってくる。

利用者が多く極めて公共性の高い「駅」だからこそ
安心してご利用できるサービスの拡充が必要だ！